



電源周りを手軽に強化できる必携アイテム フルテックNCFシリーズ最新2モデルの 自宅への導入効果を小原由夫氏がレポート

ケーブルや端子周りに簡単に使えて、音質を大幅に改善するアクセサリ、フルテックの「NCF Boosterシリーズ」。第一弾のNCF Booster登場以来、独自のノウハウと開発力で進化し続け、広範囲で使えるラインアップと斬新な効果を生み、世界中で好評を得ている。今回、電源環境を含めてあらゆる角度から徹底して整備を施す小原氏の自宅へ、本シリーズ最新2モデルを導入。すでに必需品となった、デジタルおよびアナログ周りでの効果をレポートする。

Text by
小原由夫
Yohio Obara
Photo by 田代法生



FURUTECH NCF Booster- Brace-Single

コネクタホルダー
¥13,800(税別、1個)



Specifications

【NCF Booster-Brace-Single】 ●構造：マルチマテリアルハイブリッド ●本体：NCF調合ナイロン樹脂(静電効果) ●ハウジング：特殊アルミ合金プラスチックおよびアルマイト処理 ●サイズ：約54.3W×38.5H×64.8Lmm ●質量(ネット)：約67.5g ●付属：特殊粘着両面テープ(本体装着)とスベア(強力粘着、残留接着剤なし)

FURUTECH NCF Clear Line

ACオプティマイザー
¥22,800(税別、1個)



【NCF Clear Line】 ●サイズ：約39.5W×88.4Lmm ●質量：約69g(ネット) ●全ての導電性パーツはロジウムメッキ+アルファプロセス処理 ●優れた振動減衰特性を持つマルチマテリアルハイブリッド構造

「NCFは、鉱物を主成分とした粉末(ナノ・レベルまで細かく粉碎したもの)を樹脂等に調合することで、静電効果を発揮するといふもの。私はその著しい効果を電源プラグや一連の「NCF Booster」シリーズのアイテムで日々実感しており、仕事部屋において不可欠な存在となっている。

数多あるアクセサリメーカーの中で、私が最も信頼しているひとつにフルテックがある。その理由は、ポリシーが首尾一貫しているから。具体的には、設立初期から極低温処理「αプロセス」をずっと継続しているし、近年は主に制振・静電気対策素材として活用されている「NCF(ナノ・クリスタル・フォーミュラ)」がその一だ。

フルテックNCFシリーズの著しい効果は仕事部屋に不可欠



NCF Booster シリーズ。小原氏はいずれの製品も、自宅オーディオシステムのそれぞれ適所へ複数導入し、常用している

● NCF Clear Line
デジタル系とアナログ系で常用
S/NやDレンジ改善で克明に

今回はNCF Clear Lineと、NCF Booster-Brace-Singleの2モデルを採り上げる。いずれも拙宅システムで、既に半年以上愛用しているものだ。

NCF Clear Lineは、空いている電源コンセントに差すことでACラインから混入したノイズの悪影響を低減するアクセサリで、「ACオプティマイザー」と称され、静電だけでなく、制振効果も併せ持っている。筒状の本体は、ナイロンとグラスファイバーをベースとした4層構造で、こ



構造図

- ①ボディ部：NCF調合ナイロン樹脂
- ②電極部とエアコイル：α純銅ロジウムメッキ導体/α-OCC単結晶銅導体エナメル線の外層に高性能なシルバーカラー特殊制振塗料でコーティングを施したエアコイル
- ③自社特注の特殊な制振T10ステンレスネジとワッシャー
- ④ハウジング：内部には制振性の特殊なナイロン樹脂絶縁リングを組み込んだNCFを採用し、外側を特注のハイブリッドNCFカーボンファイバー+特殊クリア硬質コート塗料で仕上げた4層構造
- ⑤密閉型の空気室：振動に対して内部の空気圧が抵抗となる
- ⑥NCFエンドカバー：カバー部を凹凸構造の立体設計でNCF素材の面積を平面構造のものよりも約76%アップ。NCFのタスク効率を向上させる機能を実現

理想の音にクオリティアップできる
手軽で高信頼な実に頼もしい製品群だ

ここに前述の特殊素材に加え、セラミックパウダーとカーボンパウダーも含まれている。

接点となるコンセント電極部には、αプロセスによる純銅材に非磁性体ロジウムメッキが施されており、その先端(筒の内部)に接続された空芯コイルがノイズ除去に働く。もちろんこのコイルもαプロセスを施した銅線で、OCCという単結晶銅が使われている。

本体は、パフォーマンスを確実しながら締め付けトルクを決定したというステンレス特殊ネジ+ワッシャーにて完全密封されている。現物を持つと、思いのほか軽いので拍子抜けするほど。エンドカバーは表面積を増大させる観点から特殊な凹凸加工がなされており、

見栄えもいい。

本品は、電源タップや壁コンセントの空いた口に差せば良いが、効果を期待したい機器の供給元に近いコンセント口に用いるのが最も有効とのこと。私は仕事部屋において、プリアンプに電源供給している電源タップと、CD/SACDプレーヤーに電源供給している電源タップの2カ所に設置している。前者は純然たるアナログ機器、後者はもちろんデジタル機器である。

アナログ系ではS/Nの改善によるディテール感の向上と、ダイナミックレンジの拡大が著しい。見晴らしの良いステレオイメージの中に音像がピタッと克明に定位する印象だ。デジタル系も同傾向だが、余韻の消え際やそのエンベロープがすっきりとする。まとわり



「NCF Clear Line」内部。エアコイルはα(A)OCC単結晶銅導体エナメル線で、「2段階～超低温処理および特殊電磁界処理～α-Process アルファプロセス」を採用。外層に高性能シルバーカラー特殊制振塗料でコーティングし振動を抑制

りついていた微細なヒタ、付帯音が除去された感じになり、フォーカスが上がるような印象なのだ。

● NCF Booster-Brace-Single

CDプレーヤーとEQで常用
力感や解像力の向上が嬉しい

NCF Booster-Brace-Singleは、ACプレーヤー/コネクターホルダーである。とはいえ、圧迫して押し込め込むタイプでなく、NCFによる静電効果と制振作用が主眼。ナイロン樹脂製の本体にNCFが調合されており、ハウジングは特殊アルミ合金プラスチックにアルマイト処理。内部構造の工夫で振動を吸収するようになっている。

使い方は、壁コンセントや機器のACインレット部に、付属の両面テープで固定する。コネクター

部分がしっかりと勘合することを確認しながら作業したい。

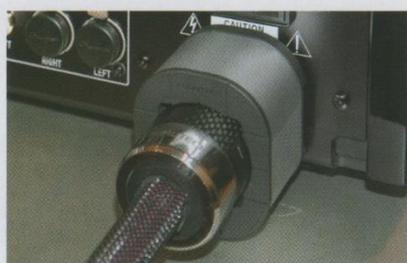
私はCD/SACDプレーヤーのACインレットと、フォノイコライザーアンプのACインレットの2カ所で使用している。今回の試聴に際し、念のため電源タップに差していたNCF Clear Lineを外して実施した。いずれの機器においても効果はNCF Clear Lineとよく似て

おり、S/N向上による音場のクリアネスのアップ、微細なディテールやニュアンス改善もたらされる。本品の場合は、特にローエンドの力感の向上や解像力のアップも嬉しい。

このテストを通じて、フルテックのNCF Boosterシリーズは再生音に静けさをもたらす、実に頼もしいラインアップであることが再確認できた。



「NCF Clear Line」は、プリアンプ(ソウルノーション720)に電源供給している電源タップと、CD/SACDプレーヤー(ソウルノートS-3)に電源供給している電源タップへ使用。写真はNCFコンセントを搭載のFURUTECHの電源ボックス「e-TP609 NCF」(¥170,000、税別)



「NCF Booster-Brace-Single」は、CD/SACDプレーヤー(ソウルノートS-3)、およびフォノEQ(ソウルノートE-2)の背面ACインレット部で使用。写真はリアの電源インレット部を使用した例